

【実施機関→支援センター】（様式第7-1）

株式会社 全国商店街支援センター

令和2年度 商人塾支援事業 （事業報告書 概要版）

実施機関名： **阿南商工会議所** （徳島県阿南市）

参加商店街名： 富岡商店街協同組合
新野商工振興会
特定非営利活動法人 加茂谷元気なまちづくり会
協同組合橘優良店会

コーディネーター： 野村千寿子 （阿南商工会議所）

メインテーマ：魅力再発見！「わたしたちの知らない阿南らしさ」とは！

「商店街」研修のコンセプト：まだ見ぬ「埋蔵“良”」の掘り起こし

「商人」研修のコンセプト：各地域の“良さ”を軸に塾生が連携する手法とは！？



カリキュラム

第1回

テーマ:地域の良さを活かし関係者との連携を深める手法とは

講師:まっとうまちなか商店街協同組合 理事長 乙村貴正 氏(石川県白山市)

ねらい(要約)

当阿南市の実情を踏まえたうえで、現在も連携に特化した商店街活動の中心人物を招聘し、押し付けではなく、自発的な商店街活動の意識の助長をねらいとする。



第2回

テーマ:見え隠れしている各地域の良さとは

講師(コーディネーター):野村千寿子(阿南商工会議所)

ねらい(要約)

- ・商人塾を開催し、複数商店街から塾生が集う意味を理解する。
- ・第2回目としてはじめに各地域の個々の良さを塾生で共有することで、第3回以降のカリキュラムに円滑に進めるようにすることをねらいとする。



第3回

テーマ:阿南の良さを活かす情報発信とは

講師:エルペプランナーズ 代表 矢吹ちおり氏(埼玉県草加市)

(株)全国商店街支援センター 支援パートナー

ねらい(要約)

- ・各商店街の地域の資源を「阿南の良さ」として再認識し、情報発信する際の材料を整える。
- ・埋もれている地域資源を掘り起こし、情報発信の基礎と選定へとつなげる。
- ・食べる・見る・学ぶ・体験する等、各地域に存在する魅力を引き出すことを狙いとする。



第4回

テーマ:対象を明確にした阿南ならではの情報発信とは

講師:エルペプランナーズ 代表 矢吹ちおり氏(埼玉県草加市)

(株)全国商店街支援センター 支援パートナー

ねらい(要約)

- ・闇雲に情報を発信しても、肝心な方に伝わりにくい情報過多な状況のなか、それぞれに適した情報発信の手法を学ぶことをねらいとする。
- ・情報発信の過程で塾生同士や商店街同士のコラボレーションの可能性を探ることもねらいとする。



第5回

テーマ: 塾生同士の意見交換とマイプラン作成準備
講師(コーディネーター): 野村千寿子(阿南商工会議所)
ねらい(要約)

- ① コーディネーター主導のもと、これまでの学びを振り返り、各回の要点を元に地区別に分かれて塾生の意見交換を行う。自分たちが知らなかった「阿南」の魅力を他の地域から教えていただく「気づき」に重きを置き大切にすると同時に交流機会の増加につなげる。
- ② 他の町にはできているのに自分の町には考えられていなかった等、違いを知ることで、「阿南で共有できる」まちづくりの手法に繋がるのではないか。同市内ではあるが状況や立場も異なることから、各塾生の意見を勘案しつつ、「マイプラン」への想いをまとめる。
- ③ ①と②に伴い、「マイプラン」のアウトラインを作成する



第6回

テーマ: 塾生によるマイプランの発表と卒塾証書の授与
講師(コーディネーター): 野村千寿子(阿南商工会議所)
ねらい(要約)

- ・今回の商人塾で培った学びと想いを塾生が共にすることで、阿南市の近い将来へ向けて身近な取組みを始める契機とする。「マイプラン」が「プラン」のままで終わることなく「アクション」に繋がるように、塾生同士で連携を開始する出発点としたい

想い

阿南商工会議所管内の各商店街・団体において、それぞれで地域活性化のため会員が活動しており、各地域の夏まつりや事業活動にも阿南商工会議所より支援を行っている。また、職員が各地域に訪問して経営指導を行い、記帳指導や各種施策の案内なども行っている。

商店街活動としては、平成 25 年から「まちゼミ」を富岡商店街で開催し、平成 26 年からは阿南市全域の店舗において参加店の募集を行った。平成 26 年・28 年に(株)全国商店街支援センターの「まちゼミ研修事業」を活用・平成 29 年から 4 年間「繁盛店づくり支援事業」の活用支援を行っている。そのことによって、本音が語り合える仲間づくりができ、まちマルシェや店舗同士のコラボイベントの開催等、次世代を担う店主の育成に繋がってきた。

ねらい

- 第1回・当阿南市の実情を踏まえたうえで、現在も連携に特化した商店街活動の中心人物を招聘し、押し付けではなく、自発的な商店街活動の意識の助長をねらいとする。
- 第2回・商人塾を開催し、複数商店街から塾生が集う意味を理解する。
・第2回目としてはじめに各地域の個々の良さを塾生で共有することで、第3回以降のカリキュラムに円滑に進めるようにすることをねらいとする。
- 第3回・各商店街の地域の資源を「阿南の良さ」として再認識し、情報発信する際の材料を整える。
・埋もれている地域資源を掘り起こし、情報発信の基礎と選定へとつなげる。
・食べる・見る・学ぶ・体験する等、各地域に存在する魅力を引き出すことを狙いとする。
- 第4回・闇雲に情報を発信しても、肝心な方に伝わりにくい情報過多な状況なのか、それぞれに適した情報発信の手法を学ぶことをねらいとする。
・情報発信の過程で塾生同士や商店街同士のコラボレーションの可能性を探ることもねらいとする。
- 第5回①コーディネーター主導のもと、これまでの学びを振り返り、各回の要点を元に地区別に分かれて塾生の意見交換を行う。自分たちが知らなかった「阿南」の魅力を他の地域から教えていただく「気づき」に重きを置き大切にすると同時に交流機会の増加につなげる。
②他の町にはできているのに自分の町には考えられていなかった等、違いを知ることで、「阿南で共有できる」まちづくりの手法に繋がるのではないか。同市内ではあるが状況や立場も異なることから、各塾生の意見を勘案しつつ、「マイプラン」への想いをまとめる。
③ ①と②に伴い、「マイプラン」のアウトラインを作成する
- 第6回・今回の商人塾で培った学びと想いを塾生が共にすることで、阿南市の近い将来へ向けて身近な取組みを始める契機とする。「マイプラン」が「プラン」のままで終わることなく「アクション」に繋がるように、塾生同士で連携を開始する出発点とした

コーディネーターから



氏名 野村千寿子

所属：阿南商工会議所

役職：中小企業相談所経営指導員

業務課 係長

商人塾における主な役割：コーディネーター

【研修全体のポイント（重点的に指導した点等）】

阿南市内でも隣の地域の人との交流を通して、阿南市の新しい魅力の発見や別の方向から見た阿南市を知ることができるよう、自ら地元を見直し自分の阿南市を語っていただく事を心掛けた。

【成果（塾生の変化等）・課題等】

それぞれが、他の地域の良さを認め合い、互いが連携できる要素があることを知ることによって、地元の魅力を発信していく企画を作りたいと意欲を燃やしている。ただ、企画をする場合に事務局をどこに置き、どのような段取りで進めるか等が、まだ作れていない為、実現に向けてには下積み期間が必要だ。

今後に向けて

この商人塾をきっかけとし、阿南商工会議所が支援しながら行政（阿南市等）と連携をとり、阿南市の住民に日常的に用いて頂けるようなマップを作成したい。手に取って阿南市内を楽しみながら巡るマップとしたいが、その方向性や工夫は商人塾の学びで得たい。

互いの良い所を吸収し、行事や活動の交流をすることで、地域間での連携や協力体制を作っていきたい。また、「まちゼミ」を通して地域の店舗・観光・まちづくりの魅力を伝える事業へと拡大していきたい。

卒塾生代表



鈴江省吾

所属商店街名：富岡商店街協同組合

所属店舗：株式会社すだっち阿南・代表取締役
(まちづくり・教育コンサルタント)

今回、～魅力発見！「私たちの知らない“阿南らしさ”」～のスローガンに引き寄せられた個性ある塾生の皆さんとは、回を重ねるごとに親近感が増して活発な意見交換ができました。特にグループ討議では、他の商店会やまちづくり団体のメンバーから意外な「地域の宝物」が飛び出し、講師先生のアドバイスも相まって、ワクワクするような企画が次々と発表されました。

私の会社は『まち・人づくりのサポート』が理念です。今、「この商人塾で再発見した多彩な『地域資源や人』をつなぎ合わせてネットワークを作りたい」との思いから第一歩として、商人塾のアイデアチャレンジ編「阿南のタケノコ掘りや山菜採りなどを体感するリモート観光プラン」の実現を模索中です。コロナ禍だからこそ、これまで以上に個々の力を融合して、地域に新しい風を送りたいものです。

最後に感染回避対応に配慮しながらスムーズな運営をしていただいた商工会議所スタッフに感謝を申し上げ、あいさついたします。